

# 学校づくりアンケート（教職員向け）で寄せられた声の紹介

2014年2月 尾北教職員労働組合

## 1 いじめ問題と学校づくり

### ◎いじめをなくすための取り組み

#### 5 (学級において)

- クラスでは人を傷つけることになれてしまう感覚にならないよう細かいこと（ちょっかい、口げんか）から気をつけなければならないことを伝えています。
- 授業中だけでなく休み時間も子どもたちとなるべく過ごすようにしている。
- 道徳の時間や何かあるごとに子どもたちと話し合いを持っている。スマイルトークはもちろんのこと子ども一人一人と向き合い実態を把握することが大切だと思っている。
- 仲間のよいところを見つける。
- 学級の子たちの実態把握。いじめはどこにでもいつでも存在するもの。その気持ちでいないといけない。

#### 15 (教育相談活動)

- 教育相談を定期的を実施している。
- 教育相談（先生と話をする時間）を実施している。
- 心のアンケートや教育相談を実施している。
- 先生と話す機会を学期に一度定期的にもうけている。
- 20 ●児童にスマイルトークアンケートを書いてもらい、児童と二者面談を実施している。（1年に2、3回）
- ハートウィークを位置づけている。

#### (全職員の共通理解を大切にした取り組み)

- 25 ●対策委員会を開いて全職員が情報を共有し、対応にあたる。
- 問題行動特別委員会（全職員参加）で話し合い全職員で問題意識を共有した。その後、校長が月曜日の全校集会でいじめや人権について話した。
- 子どもの様子を月1回程度報告する会がある。
- 校長が全校児童の前で「いじめをなくそう」と呼びかけた。児童会の代表委員会でいじめについて話し合い、児童集会でいじめの実態やなぜいけないのかを説明し、いじめをなくそうと呼びかけた。
- 30 ●いじめ、不登校についての情報交換、話し合いの場を持つことにしている。
- いじめや問題行動をオープンにして問題の共有化を進める。
- 個人カルテを作り継続して子どもの様子を観察していける体制を取っている。

35

#### (その他の意見や要望)

- 学級30人以下にするなど子どもと向き合う時間がほしい
- 家庭との協力が絶対に欠かせない。対応については本人はもとより親と学校との連携がととても大切である。
- 40 ●人をうらやんだり向上心を持ったたりするのが人間。いじめはなくならないと思う。別の形、心の持ち方に導くことが必要。

## 2 勤務時間の割り振り

- 割り振りがあると有り難い
- 45 ●通院や家の用事などがあれば、割り振りはありがたい。
- 昼の休憩を取ったことがないので16：15からさかのぼって割り振りができれば有り難い。（銀行や郵便局の窓口が開いている時間に動けるように）

- 16時15分からさかのぼって割り振りをしていただきたい。
- 仕事の量から割り振りを取るのは難しいですが、割り振りのことはしっかりやっていた  
だいていると思います。
- 割り振りはしっかりやっていたと思っています。
- 5 ● 積極的に上から声かけをしてもらいたい。
- 仕事に差し支えのない範囲で、割り振れると良いと思います。
- 割り振りをもっと取ることができるような体制を作ってほしい。
- 30分の休憩時間を除いて割り振って欲しい。
- 割り振りを確実にしていきたい。
- 10 ● 16時15分もしくは16時30分から遡って割り振りを行うことに賛成である。
- 一人一人に確実に割り当ててほしい。(長期休業などに)
- 仕事が多い平日に急に振られても帰れるわけがなく、希望日に振って欲しい。
- どんどん平日に割り振るべき。
- 割り振りを授業参観の午後に行い、勤務を解くなどすればいいと思う。
- 15 ● 研修や会議等を平気で二つ以上組み、5時過ぎることがあっても、割り振りを申し出に  
くい。
- 割り振りを確実にしてほしい。うやむやにされている。あいさつ運動など7時50分  
に出、ボランティア扱い。何の配慮もない。「早く帰って」と言うだけ。
- 割り振りがきちんと実施されるようにしたい
- 20 ● 低学年の担任や支援の必要な子がクラスにいる状態となれば児童が登校してくる8:00  
には教室か職員室にいる教員がほとんどです。朝毎日30分の時間外労働分をせめて1  
月に1回でもいいので平日に「15:00頃から勤務を解く」という日があってもいい  
のでは。もちろん常識の範囲で校区内をうろちょろすることはしませんので。
- 割り振りそのものがなされない場合が多く、管理職の意識が低い。
- 25 ● 仕事量の関係上割り振りをして帰ることはできない。
- 現実的に難しい。
- 16時30分から割り振りされるべきだと思うが、平日に割り振りするのはむずかしい。
- 昼も帰りも休憩の時間がとれない。
- 昼の休憩がない以上法律違反。割り振りなどしょせん無理。
- 30 ● 申し出ればとれる雰囲気だが、仕事があつてとれない。
- 実際に平日の割り振りは行われていない。
- 仕事があり、割り振りをとるのが難しい人が多いかもしれない。
- 仕事の量が変わらないから割り振りがあっても休めない。
- 実際には仕事があるので厳しい。
- 35 ● あってないようなもの。
- 会議が延長しても割り振りを使得って他の日に帰ることがないので、あまり必要性を感じ  
ない。
- 教育公務員特例法で認められた手当を返上しなさい。その分、たくさんもらっているで  
はないか。
- 40 ● なあなあすぎる。誰がいつどれだけ割振対象勤務をしたかしっかり管理すべきである。
- 管理職が口頭で「割り振りをとってください」とは言うものの、具体的な日時は言わな  
い。申し出にくいので割振変更簿のようなものがあるとよい。
- なかなか割り振りを希望する時期にはとれないように思う。
- 割振変更簿を使うことで年休簿のように誰でも取りたいときに記入して届け出ればい  
いようにしてほしい。
- 45

### 3 療養休暇

- 使ったことはない。(多数)
- ありません。年休さえもとっていません。
- 一度もない。年休でとるように言われる。
- 5 ●病気で一日休みをいただいたが療養休暇ではなく、年休届けを出してと事務にいわれた。
- そんなふうにとれるとは知らなかった。
- 知りませんでした。使ったことはありません。
- 使ったことがない。すべて年休
- 使ったことがありません。入院したことがありますが年休で対応しました。

10

#### ◎療養休暇を使用した例

- 入院（5日）
- 白内障の手術、入院の時
- 入院とその後の家庭療養
- 15 ●入院したとき
- 通院
- 病気による入院
- 精神的な病気
- 腰痛
- 20 ●体調が悪く、平日午後に帰らせていただいたとき
- 風邪を引いて病院に行ったとき
- 日常的に病気の時に療休を使っている

#### ◎その他意見や要望

- 25 ●この制度を今後も続けてほしい。
- 使ったことがないのでこれから使いたい。
- 使ったことがないが病気になったとき使いたい
- 病気で欠勤したときは療養休暇を提出できる環境にしてほしい。
- 通院に療養休暇は使いにくい（気持的に）ので上の先生から一言かけていただけると
- 30 取りやすい。
- 4月に事務の方から休暇の種類や取り方の明確な説明がほしい。事務の人によってやり方が変わるため、説明してもらわないと自分がどこまで動けばよいのか分からない。

### 4 全国学力テスト

- 35 ●学力テストはあまり効果がないのでやらなくてもよい。
- 必要ない。
- 結局競争がねらい。やめるべきである。
- 全国学力テスト自体が全くもってむだである。そんなお金があるならもっと他に必要なところに使ってほしい。
- 40 ●学力テストの必要がない。
- 全国学力テストは必要ない。税金の無駄遣い。他の教育の充実に使うべき（正規教員の増員 e t c .)
- 児童の実態把握のみで必要ないと思う。
- 何が目的か再度はっきり示してほしい。国民全体に。
- 45 ●実施するならば、子どもたちのための学力調査であること。学校の体裁のためなら廃止すべき。
- 当初の考えがどんどん拡大解釈されている。怖い状況になっている。責任追及されそう。

- 学校別発表はしないほしい。
  - 全国学力テスト及び学校別公表はしない方がよい。
  - 公表されるべきではない。
  - 本来の目的は見直し、公表はやめるべきだと思う。
- 5
- 競争の観点ではなく個人の到達度や苦手克服に使ってもらいたい。
  - 私立ではない。先生たちは真剣勝負でやっている。校長のせいではない。公表すべきではない。
  - 公表は、点数競争に走る学校や教師を増やすでしょう。
  - 現状通りテストを行い、結果は個人配布のみでよいと思う。
- 10
- 公表すべきでない。親の不信感が増す。
  - 生活習慣のアンケートを参考にしていく方向で。
  - 無用な競争をあおり本来の目的からずれるので公表には反対。
  - それぞれの地域の特性もあり結果公表はあまり意味がなく、メリットは少ないと思います。
- 15
- 必要ないと思います。学力テストは競争を促すものではないと思います。
  - 子どもの実態や学校を把握するためのものなので結果の公表はしなくてもいいと思う。
  - 公表することで競争が激しくなるのでやめてほしい。
  - 全国学力テストや学校別公表は、しない方がよいと考えます。
  - 各校の結果は公表しないということで始まっているので貫いてほしい。
- 20
- 過度な競争は避けたいと思う。
  - 公表したからといって何かが変わるとは思わない。
  - 競争が目的ではないはずだから、結果公表はすべきではありません。
  - 子どもの負担が増えて大変。
  - 学校名を晒し上げて成績が上がれば苦労しない。
- 25
- 学力は必要だからやる方がよい。
  - 緊張感があっていいんじゃないんでしょうか。
  - 競争があおられるとは思わないが、親が不安になると思う。
  - ある程度の公表はするべきではないか。
  - レベルアップのために、公表はよい。しかし、レベルアップするために教育環境を整えることが大事。これを要求すべき。
- 30
- 別にいいところを発表すればいい。あえて悪い方を発表する必要はない。
  - 公表して実態を確かめたい。

## **5 教職員の健康問題**

- 35
- 時間内に決して終わらない仕事内容を教員のほとんどが抱えている。このままでは多くの教員が病気になる。学校で本当にやらなければならないことだけにしぼり、健康で、すべての教員が定年まで続けられるよう要望する。
  - 仕事量が多い。教職員の定数を増やし、少人数学級にしてほしい。
- 40
- 教職員間にいじめが存在する。どこにでもあると思うが、職員室という狭い空間で長時間仕事をしなければならないため難しい問題。
  - 働きやすい職場づくりが大切。
  - とにかく新しいものを取り入れると教育がよくなると、どんどん新しいものが増加されていく。もう先生たちはふらふらである。通知表の簡素化など外部からの提案で、省けるものを省けるようにして行ってほしい。内部からの改革なども無理である。